

日本地名研究所通信



第109号

二〇二五年

四月二三日発行

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口一六〇

川崎市生活文化会館4F

☎〇四四―八二二―一〇六

FAX 〇四四―八二二―一九一

E-mail: chimeiken@chimei.people.co.jp <http://chimei.people.co.jp/>



金田宅のさくら 2025年3月29日 撮影：吉田俊雄氏

二つの地名―新年度に向けて

日本地名研究所 所長 金田久璋

年度末から、わが家の前庭の桜が満開を迎えている。寒の戻りと言うより花冷えという季語にふさわしい季節が、ようやくおとずれている。区内から移転新築して、早や三五年。もともと田圃だったので約一反(三〇〇坪)の敷地の前庭に、ひかん桜、数珠掛桜、枝垂れ桜4本があり順次満開となる。当地は福井県三方郡美浜町佐田。小字は「川向」と呼ばれ、河岸段丘の金瀬川左岸にあり、かつての役場所在地の中心地からすればまさしく川の向いにあたる。

ところで「佐田」は小地名として全国にも点在するが、当地の場合は実は公称地名で、通称は「織田(おった)」とふだんは呼ばれてきた。中世の荘園時代にゆかりを持つ氏神は織田神社(織田神社、おりたじんじや)と呼ばれているから、その鎮座地にちなむと考えられる。すなわち、当地は珍しく二つの地名を有する地区で、伝承によれば、織田八郎と佐田次郎という土豪の親子にちなむとされ、織田八郎は末社の八幡神社の祭神にもされている。令和三年に佐田伝統文化保存会で「佐田の七不思議」を制定する際に「二つの名前を持つ村」として、そ